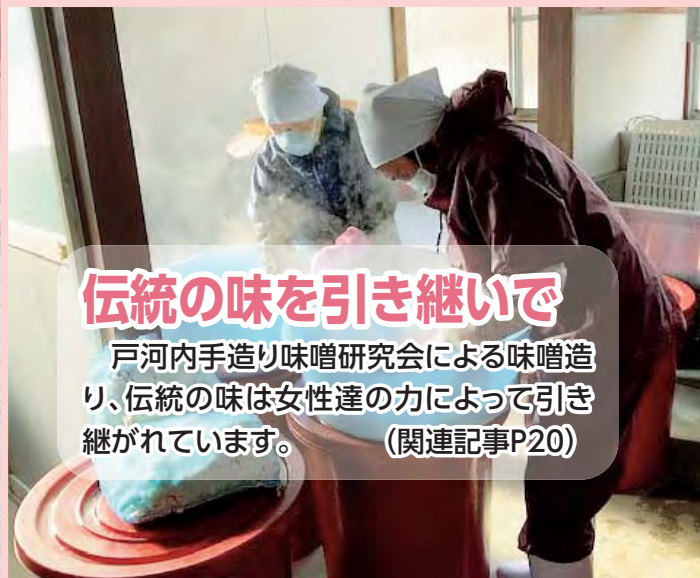


# ひらいずみ 議会だより



●主な内容

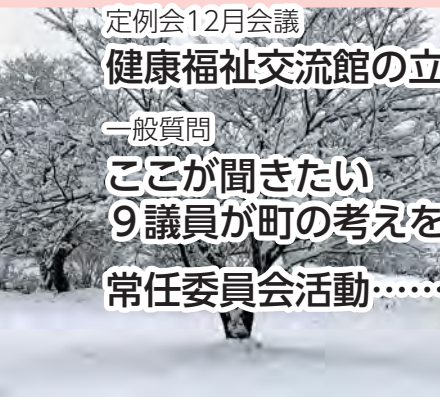
定例会12月会議

健康福祉交流館の立て直しは……2

一般質問

ここが聞きたい  
9議員が町の考えを問う……6

常任委員会活動……12



## 伝統の味を引き継いで

戸河内手造り味噌研究会による味噌造り、伝統の味は女性達の力によって引き継がれています。(関連記事P20)

# 健康福祉交流館の立て直しは

## 健康福祉交流館特別会計補正予算

### 厳しい質疑が飛び交う

### 人件費削減の手立ては

問：経営改善のためには、人件費の抑制を避けては通れない。労務従事者が公職であるべき理由を論証し、検討し直す余地があるのではないか。

答：現状では、平泉町が直接事業運営をしているため従事者は公職であるべきと考えている。

### 俸給表の再考を

問：現状の俸給表ではなく、経験を加味した新たな俸給表を設定し、健全経営に向けて取り組むべきではないか。

答：現行制度が最善と考える。新たに独自の給料表を設定することは考えていない。現状ではこれまで通りの直営を考えている。



今後の見通しは(悠久の湯 平泉温泉)



町民の声

### 料金値上げは仕方がない

町から補填し温泉をやってきた様だ。料金が上がるのは残念だが、仕方がない事ではないか。頑張ってるらしい。

おの でらかつお  
小野寺勝雄さん  
(平泉字大佐)



### 将来を見据えた対応を

問：人件費を削減せずに今後一般会計から、繰入金も2,000万円も減額していくとは考えられない。町民の健康と福祉の増進のためにと位置付けて運営するのであれば、もっと先を見据えた対応が求められるのではないか。

答：今回の条例改正ですべてが解決するとは考えていない。今後の改革の第一歩だと考えている。直近の入湯者は増えつつある。今後も運営状況をしっかり精査しながら全体で議論を深めていきたい。

## 健康福祉交流館条例の改正

### 人件費の扱いにメスを

問：休館日が月に二日増えることで職員の月当たりの労働時間はどの程度減少するのか。また人件費はどの程度抑制されるのか。

答：フロント職員10名で約1,092時間の減少になると見込んでいる。それによる人件費の抑制額はおよそ115万円である。

町民の声



### 指定管理者制度の是非

指定管理者制度は、経営安定等のメリットがある反面、サービスの品質低下等のデメリットも認めない。町民が納得できる条例改正が必要と考えます。

ちば まさゆき  
千葉 正行さん  
(平泉字日照田)

### 新たな営業形態を

問：現在の職員の雇用形態では健康福祉交流館の経営改善は難しいと活性化調査報告書で指摘されている。指定管理者制度などの導入は考えられないか。

答：今年度に民間業者と交渉していた経緯はあったが、条件面で折り合いがつかず、協議は中止した。現在、指定管理者制度の導入に向けた交渉は行っていないが、これまでの交渉の過程で人件費を含めた様々な課題に指摘があり、今後、人件費の抑制を含めた取り組みの必要性を再認識した。

## 個人番号の利用等に関する条例の改正

### マイナ保険証に不安要素は

問：マイナンバー保険証の町内における利用率はどの程度か。

答：全国的にはまだ利用率は低調であるが、当町では10月末で約14%の利用率であり、春先からは増加傾向ではある。



### 提案理由の文言は

問：条例の提案理由に健康保険証の廃止を定めるという文言があるが、提案理由として適切なのか。

答：関連する18の法律を含めた一括改正であり、その中の被保険者証の交付という文言が削除されるためである。また、国会においても健康保険証の廃止という文言で統一して使用されているため、当町でもその文言を使用した。

町民の声



### 情報管理の徹底を

マイナ保険証は医療機関での手続きがスムーズとなるメリットはあるが、個人情報漏洩のリスクなどのデメリットがあることから、改善に向けた取り組みを望みます。

おの であつし  
小野寺 淳さん  
(平泉字正法)

定例会12月会議  
5日から12日までの会期で開催しました。特に健康福祉交流館の運営に関し、各議員から今後の見通しについて質疑が相次ぎました。

# 議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

## 議会定例会12月会議（12月5日～12日）

議案及び内容	関与
<b>条例案件</b>	
平泉町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例（加入医療保険情報を確認できるようにするための一部改正）	2
平泉町健康福祉交流館条例の一部を改正する条例（健康福祉交流館の使用料の一部改正）	2・3
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（関係条例の整備）	
平泉町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（一般職の職員の給料月額及び手当の改定）	
<b>令和6年度補正予算</b>	
一般会計（第7号）（第8号） （生活困窮者冬季特別給付金、町単独医療費給付金、他市町村措置依頼児童委託費、飼料価格高騰対策畜産農家支援金、職員人件費、会計年度任用職員人件費などの増額）	4
国民健康保険補正予算（第4号）（会計年度任用職員人件費の増額）	
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）（後期高齢者医療広域連合納付金の増額）	
健康福祉交流館特別会計補正予算（第3号）（第4号） （施設使用料、会計年度任用職員人件費の増額）	3
町営駐車場特別会計補正予算（第3号）（第4号） （駐車場使用料の減額、職員人件費、会計年度任用職員人件費の増額）	
下水道事業会計補正予算（第1号）（第2号）（下水道使用料、職員人件費の増額）	
水道事業会計補正予算（第1号）（第2号） （職員人件費の増額、薬品費、企業債償還利息などの減額）	
<b>人事案件</b>	
教育長の任命に関し同意を求めることについて	吉野 新平さん（再任）
監査委員の選任に関し同意を求めることについて	鈴木 清三さん（再任）
<b>議員発議</b>	
平泉町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	
現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書の提出 （内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、デジタル大臣へ提出）	4

## 議会定例会10月会議（10月28日）

議案及び内容
<b>報告</b>
令和6年度平泉町一般会計補正予算（第6号）の専決処分の報告について（衆議院議員総選挙929万8千円）
<b>事件案件</b>
長島球場スコアボード他改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

## 議会定例会1月会議（令和7年1月7日）

議案及び内容
令和7年の会期の決定
令和7年1月7日から令和7年12月25日までの353日間

### 賛否の公表

#### 賛否のあった議題

議案	議員名	議員											賛成	反対	採決結果	
		小笠原 享	千原 多嘉男	大友 仁子	氷室 裕史	阿部 圭二	三枚山 光裕	真筆 光幸	高橋 伸二	佐藤 孝悟	千葉 勝男	升沢 博子				高橋 拓生
発議第17号 現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書の提出について		○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	-	6	5	可決

※採決に議長は参加していません。

### 議長交際費を公表します

10月分	26,800円 （天台県政府関係者訪問歓迎会など）
11月分	10,000円 （花環代）
12月分	13,000円 （市勢功労祝賀会など）

※詳細はHPをご覧ください。

### 議会定例会3月会議のお知らせ

## 3月5日(水)～14日(金)開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。  
※傍聴にお越しください。

## 議員発議

## 意見書を審査しました

採択

発議 第17号 現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書 提出者 高橋伸二

反対です	討論	賛成です
<b>利便性が向上する</b> 大友 仁子 議員 マイナ保険証は、より良い医療とDX推進のための重要なベースとなる。現在持っている健康保険証は、最長1年間利用できる。マイナ保険証を持っていない方に対しては、資格確認書が交付される。このような体制で既に進行しており、意見書提出には及ばない。	<b>カード取得は任意のはずである</b> 阿部 圭二 議員 約7割の医療機関でマイナ保険証によるトラブルが起きているというデータもある。また、カードの取得が義務化になるのではない。	
<b>より質の高い医療へ</b> 真筆 光幸 議員 医療機関で情報を共有し医療の質が向上する。また、保険証発行にかかる毎年100億円ものコストカットにも繋がる。写真・ICチップも付随し、セキュリティも万全である。	<b>国民の不安が置き去りである</b> 三枚山 光裕 議員 現行の保険証を廃止し、マイナ保険証を導入することは医療機関の負担増大が懸念される。またセキュリティ面での不安も払拭されていない。	

国へ意見書を提出しました。

## 一般会計補正予算（第7号）

### 民間の力も活用して

**問** クリーンエネルギー自動車充電充てんインフラ導入促進補助金が600万円減額された要因は。

**答** 町が道の駅のEV充電器の更新を行う予定であったが、民間業者から設置の申し出があり、民間に委任したためである。



民間に委託されるEV充電器

### 町民の声



#### 時間外労働の精査が必要

働き方改革は、業務や労働時間の改善を目的とするので、時間外労働に関しては更に精査する必要があると思う。

鈴木 たかさん  
（平泉字泉屋）

## 職員の働き方改革を

**問** 職員の時間外手当が200万円以上増額されているが、あまりにも多すぎるのではないかと。

**答** 昨年よりも業務量が増加している傾向があり、年度末までの実績を勘案した結果、増額することとなった。



ひむら 裕史 議員



## 各行政区に防犯カメラを

答 要望があれば検討も

### 問

地区をよく知る各行政区長の

町長 不法投棄の観点から担当課による監視。パトロール、防止看板の設置、県や警察の関係機関との連携を主に啓発活動を実施している。防犯カメラの導入は個人情報保護の観点、費用対効果を勘案し、現状では町民相互と行政の監視によって未然防止と拡大防止に努めていきたい。

### 町長

不法投棄の

### 問

各行政区の自

主的な環境保全への負担の軽減を図るため、防犯カメラを設置してはどうか。

### 総務課長

行政区で

えられるが、原則的に管理も行政区となり、経費等の負担が増加すると考えられる。また、個人情報情報の取り扱いも全体での合意が必要になると考えられる。



カメラ設置で犯罪の抑止を



おおとも さとこ 議員



## 大規模災害に備える取り組みは

答 生命と財産を守る取り組みを進める

### 問

「平泉町地域防災計画」に、観光旅行者、外国人観光客に対する避難場

町長 大規模地震に備えた通電火災防止を推進するため、自主防災会等で開催される防災セミナー等において、感震ブレイカー設置の必要性を啓発し、設置する際の購入費補助を検討しながら町民の生命と財産を守る取り組みを進める。

### 問

能登半島地震の教訓の一つとして、地震時の火災防止のための感震ブレイカーの普及加速のための取り組みは。

### 町長

大規模地震

のほか、多くの外国人観光客が来訪することから、観光庁が示す災害時の旅行者・観光客の安全確保を図る「観光危機管理計画」を参考にしながら、ピクトグラムを用いた誘導看板の設置や、外国人支援情報コーディネーターを育成するなど、きめ細かな避難行動への対応の整備を図っていく。

### 町長

当町には、

所・避難経路などの計画が定められているか。



観光客の避難行動の整備を

# ここが聞きたい!

議員自身の考え、町民の生の声、町の施策などを執行者に質します。今回は9人の議員が登壇しました。

## P 7 氷室 裕史議員

- ①総合計画に基づく芸術・文化の振興
- ②不法投棄を含めた犯罪の監視体制の強化

## P 7 大友 仁子議員

- ①大規模災害に備える取り組み
- ②子育て支援

## P 8 高橋 伸二議員

- ①「こども基本法」の施行に基づく町の取り組みの現状と課題

## P 8 千葉 多嘉男議員

- ①観光振興
- ②小学校の学習環境の確保と支援員の配置

## P 9 升沢 博子議員

- ①財政見直し
- ②子育て支援

## P 9 小笠寺 享議員

- ①農業用ため池
- ②児童生徒の不登校対策

## P10 真筈 光幸議員

- ①高齢者介護施設への支援
- ②要介護度改善施設への報奨金

## P10 阿部 圭二議員

- ①住宅リフォームへの助成
- ②福祉灯油

## P11 三枚山 光裕議員

- ①町道の支障木への対応
- ②町の成人保健事業
- ③児童、生徒の急性内斜視への対応

※各議員の質問ページの氏名隣りのQRコードから、個人の質問の内容がご覧になれます。



# 一般質問と総合計画

一般質問で町の考えを聞く

平泉町は総合計画に基づき、町長が施策を推進しています。6つの基本目標に大別された分野別の課題や進捗状況、政策について議員が町長等に質するのが一般質問です。各議員が総合計画におけるどの分野について質問しているのかを可視化しました。

## 総合計画6つの基本目標

### 1. 協働のまち

1-5 町民参画のまちづくり 高橋(伸)

### 2. 福祉の充実

2-1 保育・子育て支援 升沢・大友  
 2-3 高齢者福祉 真筈・阿部  
 2-5 保健・医療の充実 三枚山

### 3. 観光と産業

3-2 農山村環境の保全 小笠寺  
 3-3 観光の振興 千葉(多)

### 4. 防災と交通

4-2 地域防災力の強化 大友  
 4-3 防犯・生活安全の向上 氷室  
 4-5 道路の整備 三枚山

### 5. 環境と調和

5-2 住宅の整備 阿部

### 6. 歴史と文化

6-3 芸術・文化の振興 氷室

### その他

学習環境の確保 千葉(多)・小笠寺  
 町財政 升沢

町HPで見られます▶  
【第6次平泉町総合計画】





まさざわ ひろこ 議員



## 子育て世帯訪問支援事業は

答 要支援家庭への家事・育児支援を

**問** 現在の社会福祉協議会の状況を考えると負担が大きいのではないかと、人材の育成も必要ではないか。

**答** 事業委託先は平泉町社会福祉協議会を選定し、訪問支援員の研修を実施したうえで11月に委託契約を結んでいる。

**町長** 子育てに不安を抱える家庭や妊産婦などに家事・育児支援を行うことで養育環境を整え、虐待リスクを防ぎ包括的に子育てを支援していく。

**問** 子育て世帯訪問支援事業の内容は。



役割が増す「こども家庭センター」

**子育て支援課長** 今後支援対象者の調整など、社会福祉協議会と連携を密に事業の効果的な実施を図っていく。

**問** 幼児期から就学までの連携、つなぎ方について情報共有はどのように行われているか伺う。

**教育長** 幼稚園、保育所の協力によって、専門家チームの定期巡回で観察し、発達面や心理面を確認する就学時健診を実施している。

支援の必要な子どもについては、幼稚園や保育所から小学校等へ適切に情報提供を行っている。



たかはし しんじ 議員



## 「こども議会(仮称)」設置の考えは

答 「未来づくり会議(仮称)」の制度化へ

**問** 「こども基本法」が求めている「4つの子どもの権利」を町が体系づけて保証するための取り組みを行う意思はあるか。

**総務課長** 子どもの権利と子どもの意見聴取の重要性を各課で共有するための職員研修を行い、「子ども計画」策定に活かす。

**問** 子どもの意見を町が把握する事は大切、子どもたちにより良い平泉にするための意見や提案を出してもらい、それを町政に反映させる取り組みとして、町行政と

**まちづくり推進課長** 子どもたちくみ上げることは非常に重要、意見を聞く場を設けたい。来年は後期基本計画の策定の年度であり、まずは町長が中学校を訪問し、中学生の意見を聞くことを制度化したい。

**教育次長** 「こども議会」の設置は、先進事例を含め関係各課と調査・研究を進めながら、子どもたちが最適に意見表明できる場の形を今後検討したい。

教育委員会が主導する「こども議会」のような組織を取り組みの制度として設置する必要があるが見解は。

## 農業用ため池への対応は

答 防災工事の早期着手を請願する



おの けんじ 議員



**町長** 県では、防災工事等推進計画を策定し、防災工事等が順次進められると伺っている。耐震性不足と判断された箇所については、県に対して防災工事の早期着手をお願いすると共に、関係者に対し、ハザード

**問** 県指定を受けた防災重点農業用ため池二十箇所のうち、これまで十箇所の耐震性試験を行った結果、三箇所で安全率を下回る耐震性不足と診断された。国や県は、可能な限り速やかに防災工事を実施し安全性を確保するよう努める事としているが、当該としての対応は。

**町長** ため池の点検は、それぞれの管理者にお願いしている。町管理については、大雨が予想される際は予めパトロールを実施し、異常が見られた場合はため池の構造に影響を及ぼすか確認して必要に応じて修繕を行う。



農業用ため池の安全確保を

## 特別支援教育支援員の配置は

答 希望に沿うよう配置を行っている



ちば たかお 議員



**問** 平泉小学校の1年生は他の学年に比べ1クラスの人数が多く、担任の負担が多いと思われるが、入学から8か月が経ち落ち着いて学習する環境が整えられているか。

**教育長** 日常的な、クラス訪問を行い、現場の状況を把握し、その都度必要な支援をしつつ、指導の方向性を学校と相談し、全体かつ個別の具体的な対策を講じてきた。今後も、児童への支援を継続し、より良い学習環境を提供できるよう努める。

**問** 1年生のクラスでは、保護者



落ち着いて学習できる環境整備を

**教育長** 見守りボティアの方々の協力も心強く子供たちを支える環境も整いつつある。支援員の配置については、毎年学校へ調査を実施し、希望に沿うよう配置を行っているが、支援を必要とする児童は増加傾向にあることから、支援員の配置やその他の支援体制の充実について取り組んでいく。

による見守りボランティアの方も来ていますが、採用している支援員の人数で不足していないか。



三枚山光裕 議員



## 急性内斜視への対応について

答 学校保健会等の協力と定期健診を

**問** スマホやタブレットを起因とする中学生の急性内斜視が増えている。現状と対応は。

**教育長** タブレットの普及、家庭のスマートフォンやゲーム機器等の活用によりデジタルデバイスを使用する機会が増加している。目の筋肉が疲労し、正常な視覚機能が損なわれ視力の低下や斜視のリスクが高まる可能性があるかと考えている。現在、デジタルデバイス要因による急性内斜視の児童生徒は確認されていない。

**問** スマホ、タブレットが原因、学校でも抑制的な利用が求められるのでは。タブレット、電子黒板導入で学力は上がっているのか。

**教育長** 電子黒板やタブレット利用と、学力との関係のデータは取れていない。電子黒板が悪いと言っ事ではない。問題は、スマホの使用時間、目との距離との関係が問題と考える。斜視については定期健診の他に、学校保健会、PTA講演会等で啓発できるか学校とも協力して進めていきたい。



## 高齢者介護施設の改修支援を

答 町独自の補助は予定していない



真筆 光幸 議員



**問** 利用者が日常使用するトイレの温水洗浄式便座への改修費用の補助をすべきではないか。

**町長** 必要な点検、改修などは施設が管理すべきである。

**問** 感染症予防のためにも手洗いの自動水栓化などへの改修の必要性は認識しているか。

**保健センター長** 望ましいと思うが、各施設が計画的に修繕対応頂きたい。

**問** 町の介護福祉事業に多大なる

貢献をしている施設に対し、町民福祉の観点から助成すべきではないか。

**保健センター長** そうした補助制度はない。

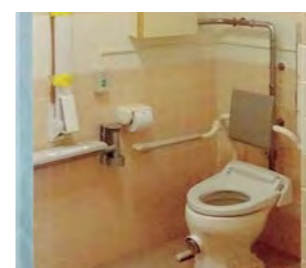
**問** コロナの検査キットも支援すべきではないか。

**保健センター長** 国や県の動向をみる。

**その他の質問**

- 非常用自家発電整備補助
- 要介護度改善施設への報奨金
- 介護福祉職員の住まいるの支援
- 給付型奨学金創設

**温水洗浄式便座への改修を**



## 若者の視点 高校生が傍聴に来ました



千葉祐哉さん (奥州市・衣川)

財政の話は少し難しかったですが、子育て支援の話は自分や家族にとっても身近な話なので興味を持って聞くことができました。また傍聴してみたいです。

## 初めての傍聴

議会傍聴には初めて来たという高校生（一関学院・2年生）の千葉祐哉さん。議場の雰囲気には少し緊張したとのことですが、子育て支援の議論がとても身近に思えたようです。

今は陸上部で長距離走を頑張っていますが、将来は地方公務員として地域に貢献していきたいと話していました。

## 誰でも利用できる住宅制度に

答 需要に注視しつつ現状維持



阿部 圭二 議員



**問** 物価高騰で町内建築事業者の仕事が減少になつているがその対策は。

**町長** 現在、建築組合との意見交換で「バリアフリー住宅改修事業」の助成をしている。需要に注視しつつ当面は現状維持していく。

**問** 後継者がいないため建築事業者の廃業が相次いでいる。地元の建設業者の必要性をどう考えているのか。

**観光工商課長** 建設業は物価高騰も含めて厳しい状況にある。空き家等の対策も



リフォーム助成支援を

含めて検討していきたい。

**問** 高齢者世帯へのリフォーム助成支援が必要ではないか。

**保健センター長** 要介護認定の方へのリフォームの助成は、介護保険制度の中にある。身障者手帳の方には「一人に優しい住まい作り事業」で対応している。

# 持続可能な町づくりを

## 人口減少対策への模索

### 県外研修報告

研修日程：令和6年9月26日～9月27日

研修先：【1】栃木県那須町 那須まちづくり株式会社

【2】福島県国見町 国見町役場 企画調整課

参加者：升沢博子 千葉多嘉男 佐藤孝悟 真篁光幸 阿部圭二 氷室裕史

視察研修目的：本委員会の調査テーマである「人口減少対策」について先進的な取り組みを行う団体と自治体を視察し、今後の委員会活動に資するものとするため。

## ① 「那須まちづくり株式会社」

### 民間の知恵を

「少子高齢化社会の小さな拠点」と位置付ける就労・文化交流を行う共生型コミュニティを民間の企業が運営している。建物は小学校を改修したものを活用し、高齢者の戸建て賃貸住宅、サービス付き高齢者住宅、デイサービスなど多岐に渡っている。自然豊かな環境でもあり、移住者は首都圏からが主であった。高齢者を含めた多世代が交流し、共生するには民間の知恵と力も不可欠であると考えさせられた。



居住者が交流する戸建て住宅

## ② 「国見町企画調整課」

### 移住者の住まいの確保を

国見町も平泉町と同様に人口減少対策が大きな課題であり、その現状と取り組みについて主に①新しい商店街とコミュニティ作りを目標にした公有不動産再活用による町づくり事業②移住者の住まいの確保に向けた空き家の清掃・改修・家財処分等に助成を行う等、特に移住者のニーズに沿った取り組みについて説明を受けた。



平泉にはない助成制度を

## 常任委員長の 目線

～視察研修を終えて～

### 官民一体となって

人口減少は様々な対策を講じても効果が限定的な場合もある。確実に縮小していく町の規模を見据えた施策の展開が重要であり、今後は行政だけではなく地域との協働によるまちづくりが必要と考えられる。

## 12月会議

# 交流人口の増加へ

## 地域おこし協力隊の活躍で

総務教民常任委員会では、12月会議の中で町の行っている施策を調査し、関係する課に説明を求め、持続可能な町づくりのためにより効果のある施策につながるよう意見交換を行いました。その質疑の内容をご紹介します。

### S・I・C 周辺開発

問：スマートインターチェンジ周辺開発の進捗は。

答：民間事業者との協議を行っている。施設規模、内容等具体の検討を進めている。地権者説明会についても検討している。



周辺開発の進展を

### 町民の声



#### 人口減の対策を

平泉町は現在人口減少が喫緊の課題となっている。その対策として工業団地を早期に造成し、企業誘致を積極的に行い、安定的な雇用の確保に努めて欲しい。

内藤 俊喜さん  
(平泉字森下)

### 企業誘致

問：新しい工業団地の検討は。

答：大平土取り跡地については、国道4号バイパスの4車線化に合わせた整備を検討している。合わせて町道宿1号線の延長によるオーダーメイド造成にも対応できるように検討する。

### 地域おこし協力隊

問：地域おこし協力隊の活動状況は。

答：地域の抱える様々な課題を解決するための活動を行っている。

急激な人口減少の課題には、「イベント企画のジャズフェスティバル」、「空き家活用・移住推進プロジェクトの空き家ポータルサイトの構築」、「体験型観光プログラムのフットパス」など、交流人口の増加にも貢献している。



多数参加した戸河内でのフットパス

# 住民のための景観条例を

やさしいすみよいまちづくりに

県外研修報告

研修日程：令和6年10月23日～10月24日  
 研修先：【1】神奈川県真鶴町 真鶴町役場 まちづくり課  
 研修先：【2】神奈川県小田原市 『はなまるキッチン』  
 参加者：【3】三枚山光裕 大友仁子 千葉勝男 高橋伸二 小笠寺亨  
 視察研修目的：景観条例の見直しを見据え、「美の基準」と言われる景観条例とその取り組みを学ぶため神奈川県真鶴町を視察した。また6次産業化における課題や循環型農業の推進等の農業振興策について学ぶため小田原市を視察先に選定した。

## 1 まなづるまち 真鶴町「まちづくり条例」

### 一般住宅は景観法の適用外

真鶴町のまちづくり条例の最大の特徴は「自己の居住の用に供するための住宅の建設行為は除く」と定め、一般住宅を条例の適用対象から除外している点である。まちづくり条例と美の基準の根底には、住民の生活権に制約をかけず、古来より培ってきた風土や文化を尊重するという大目的がある。当町における景観条例、景観計画改定・検討にあたっては真鶴町のまちづくり条例と美の基準の目的を学ぶことが肝要であるとする。



真鶴町役場前にて



はなまるキッチンにて説明を聞く

## 2 小田原市「はなまるキッチン」 6次産業への新たな模索

農園開業当初は、農産物の生産と販売を主としていたが、生産・仕分け・梱包・陳列に加え、売れ残り回収のコスト等の過程が重なり、安定した収益が確保できるものとはならなかった。現在は生産した農産物を加工し、販売と料理の提供を行っている。当町においても適切な6次産業の形を模索し、農業振興に努められたい。

景観条例の見直しを見据え、「美の条例」とも言われる真鶴町のまちづくり条例を学んだ。特に町民への説明の丁寧さは、平泉町も做すべきところではないだろうか。今後も研修を重ね、町民の暮らしに資するものを提言していきたい。

常任委員長の  
目線  
～視察研修を終えて～

# 充実した社会基盤整備を

安心安全な地域社会に

12月会議

産業建設常任委員会では、9月会議の中で今年度の調査テーマ「社会基盤整備、農業振興策、観光・産業振興策」をもとに、関係する課の取り組みを調査し、委員間で話し合い、より良い施策につながるよう協議を行いました。

### 町内観光施設の周知対策を

問：道の駅や平泉遺産ガイダンスセンターを周知する案内板が少ない。観光客の道しるべとして、各所に設置すべきではないか。

答：以前に県にも要望した経緯はあるが、再度関係部署・機関と協議を重ねていきたい。

### 町民の声



#### 観光施設の集客増進を

他の観光地に比べ、施設案内板が少ない様に思う。観光客に分かりづらい所もあるので、必要不可欠ではと考える。

ちば ひでお  
千葉 英雄さん  
(長島宇山谷)



自然災害への対応対策を

### ため池の防災減災を

問：ハザードマップ作成の際に、廃止等の話はなかったか。また、ため池のハザードマップ作成は残り何箇所あるのか。

答：廃止する方針はなかったが、管理者を辞めたいという話があり、今後協議していく。また、ハザードマップ作成については、今回で全箇所網羅することになっている。

### 町道整備の促進を

問：町道滝の沢林線の早期改良に向けて地域住民も条件整備に努力している。調査・測量に向けた予算計上はいつ頃になるか。

答：整備中の衣関線との兼ね合いもあり、令和8年度に予算計上する方向性で考えている。調査・測量も同年度からになる。



整備を待つ町道滝の沢林線

# 読みたくなる議会広報誌を

## 研修会報告

岩手県町村議会広報担当者による研修会が開催され、基本となる編集技術やデザインに関して、他の議会だよりを参考に多くのことを学びました。また議会だよりの根幹となる理念や役割を再確認する機会にもなりました。

### 編集技術及び担当者の資質向上を目指す

**研修日時：**令和6年11月6日・7日  
**研修場所：**花巻市湯本 ホテル紅葉館  
**参加者：**平泉町議会議員広報広聴常任委員5名  
**研修内容：**議会広報の基本と編集  
 講師による各町村議会広報クリニック



岩手県19町村議会広報担当者による研修会

### 研修を終えて～平泉町議会基本条例第20条「議会広報の充実」～

議会広報誌は、地域課題や町民ニーズを広聴活動の中での確に集約し、議会活動のプロセスや結果を町民に広報することで、議会への認知、興味や関心、参画意欲を高めるきっかけをつくり、議会と町民をつなぐ役割を担っていると改めて学んだところです。また、町民から負託を受けた議会としての説明責任を果たす観点からも議会における「広報」と「広聴」は住民自治を実現する根幹となることから、更なる充実した活動を目指していきたいと考えています。

## よりよい町づくりのために

町内の2つの団体から要望がありました。

### 平泉商工会

会長の高橋幸喜様から物価高、人手不足等をはじめとした諸課題への支援と平泉町商工業の振興に向けた助成措置の要望をいただきました。



### 社会福祉法人平泉町社会福祉協議会

会長の寺崎敏子様から継続的な地域福祉の推進、地域共生社会の実現に向けた活動に対する要望をいただきました。

## なり手不足解消の道筋は

近年、全国的に地方議員のなり手不足が課題となっており、その原因の一つが低額な議員報酬にあると言われています。将来的に多くの町民が年齢、性別にとらわれず議員になる機会を得ることは喫緊の課題であると考え、報酬改定を進めている議会を研修しました。

### 議員発議で報酬改定…紫波町議会

**研修日程：**令和6年10月16日  
**研修先：**紫波町議会  
**参加者：**平泉町議会議員12名事務局2名  
**研修内容：**議員報酬改定の取り組みについて

- 将来を見据えた生活給的な議員報酬の必要性の検討
- 議員活動を身近にする「議会モニター」の設置や「町民との意見交換会」を実施

### 研修を終えて～新しい議会・報酬のありかたの提唱～

紫波町議会では議員報酬検討部会を設置し、議会内研修と協議を重ね、議員発議で議員報酬条例の一部改正を決議しました。町によって人口、財政規模等は様々ですが、平泉町議会も報酬についての議論を進めていきたいと考えています。



町民の声

### 報酬の改定を

議員報酬の値上げについては賛成です。時代の流れもあり、これからの議員の成り手にも魅力的な選択肢の一つになれば良いと思います。

すずき こうすけ  
鈴木 宏介さん  
(平泉字大沢)

## 議会機能の充実のために

一般質問に対し「検討します」「努力します」といった答弁は、その後の結果を確認しにくいものです。そこで、議員が行った質問について追跡質問ができるよう、規則を定め運用実施している議会を研修しました。

### 追跡質問で行政側を質す…青森県佐井村議会

**研修日程：**令和6年10月17日  
**研修先：**青森県佐井村議会  
**研修内容：**追跡質問を会議規則に定め、運用することについて

議員自身が過去に質問した事項に限り、成果や経過の報告を求めるもので1年以内の質問に限定しています。時間は20分とし一般質問の冒頭に行います。



追跡質問で緊張感を

### 研修を終えて～一般質問への責任と緊張感の持続～

佐井村では追跡質問の運用をはじめた後も改善を重ね、議会の活性化にもつながっているようです。また、当局も一般質問に対し、これまで以上に緊張感をもって取り組んでいるとのことでした。

# 町民のホンネ

シリーズ  
2

町民ひとりひとりに町への思いがあります。皆さんの考えや思いを聞いてみました。

## 未来の平泉へ 思いを馳せる

「GEINOの縁」(達谷窟毘沙門神楽)

地元の17〜20歳のメンバーで構成された「GEINOの縁」の皆さん。神楽を始めたきっかけはそれぞれですが、平泉町の文化の将来を思う気持ちは皆一緒です。

神楽は、高齢者の娯楽という位置づけが強く、まだ魅力を伝えきれないという思いがあります。これから平泉に観光に来る若い世代へ、どのように神楽の魅力をアプローチしていくかが重要だと思いました。

なく、触れ合える体験施設です。町内の様々な文化を、一か所に集約させた施設があれば町の賑わいにも繋がっていくのでしょうか。



面の下には真剣な表情が

9月末に開催された「GEINOの森」Kagura Branch」の手ごたえはどうでしたか。



若手の力で活力を

もし、平泉を離れてしまうことになっても神楽は続けていきたい思いは強いですか。

進学を機に平泉を離れた先輩も夏休みに帰ってきて、一緒にここで神楽を踊ったりしました。私たちも「平泉に戻ってくれば神楽ができる」という環境が続いてほしいし、そういう環境を作れるように頑張っています。

これからの平泉町はこうなってほしい、というような思いはありますか。

大きな体験型観光施設があればいいなと思っています。見るだけではない

皆さんから見た議員のイメージについて教えてください。

色々な要望や意見を言ってもなかなか実現しない感じがあります。難しい仕事をしているイメージもありますが、実際どういう仕事をしているかがあまり見えてきません。

取材を終えて

GEINOの縁の皆さんは神楽や町の文化の今後をしっかりと考えていました。伝統文化の変遷を見据えつつ、変わらずにあるべき事を選択することは非常に重要であり、また困難であることを改めて認識しました。

### 議会だより モニター コーナー

前号(185号)について  
モニターの皆様から  
ご意見をいただきました。

こいわ よしふみ  
小岩 義典さん

- ☺️ 委員会のテーマ、地域の声とその対応がはっきり書かれていて良い。
- ☺️ 決算審査も各委員の考えがしっかり反映されていると思った。

あさり きよひろ  
浅利 清廣さん

- ☺️ 議案審議の欄に数字が具体的に書かれ、見やすくなっている。
- ☺️ 議会活動を写真で取り上げることは子どもが見てもわかりやすいと思う。

すずき せつろう  
鈴木 節郎さん

- ☹️ 写真の背景にもう一工夫あればさらに良くなる。
- ☹️ 議員のひとりごとはもっと深く本音を書いても良いのでは。



会議風景

こうの あやか  
河野 綾華さん

- ☺️ 町民の声は町民のリアルな声がいかがいかに聞けていて良いのではないかと。
- ☺️ 議会だよりモニター意見が柔軟に反映されている

まごめ ともこ  
眞籠 智子さん

- ☹️ 表紙の写真は場所がわかる風景を入れればさらに良くなる。
- ☹️ 写真で見る議会活動に参加者の名前を加えても良いのではないかと。

### 子どもも主役になれる議会だより作りを

毎回議会だよりモニターの皆様から貴重なご意見を頂戴していますが、回数を重ねるごとにポジティブな意見を頂けることが多くなってきた気がします。その中で議会だよりモニターのご意見の一つに、もっと中学生や高校生を登場させる企画はどうかというものがありません。他の議会だよりでは子どもたちの意見を拝聴しているものも多く、平泉町議会でも新たな視点・考え方を模索してまいります。

# 表紙の紹介 「平泉の食文化を支えて」

昭和55年から戸河内地区で始まった味噌造りは、代表の菅原さんのお義母さんから受け継いで40年余り、現在は菅原悦子さん（広滝）片平光枝さん（南郷）千葉恵子さん（東郷）3人で作業を行っています。

4日間の味噌造りはこうじ菌造りから始まります。農事組合法人アグリ平泉の大豆、米こうじ、塩を原料として今年は16斗を造り上げる予定です。

寒さの厳しい季節、朝暗いうちからの作業ですが、3人は息の合った手際の良さで味噌造りを楽しんでいました。

これからの課題は後継者の確保と販路拡大です。また、小・中学生にも体験学習などをしてもらえたら嬉しいと話していました。



大豆は平泉産の『リュウホウ』



## 新年ご挨拶

明けましておめでとうございませう。希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より議会活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年3月の町議会議員選挙により、12名の新議員が選出されました。議員一丸となり、町民ニーズにこたえるべく全力で議会活動に取り組んでまいります。本年もご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 平泉町議会

議長

高橋 拓生

副議長

升沢 博子

議員

千葉 勝男

佐藤 孝悟

高橋 伸二

真筆 光幸

三枚山 光裕

阿部 圭二

氷室 裕史

大友 仁子

千葉多嘉男

小笠寺 享

### あとがき

昨年は何かと激動の年となりましたが、今年こそは平穏無事な年であってほしいものです。議会だよりも昨年より一新され、「読むでるよ。」「あれは、こう思うよ。」など、多くの方からお声を掛けてもらう様になり、委員の一人として嬉しい限りです。

これかも多くの方々からの声をお届けしたいと思っておりますので、忌憚の無いご意見や取材の際のご協力をお願い申し上げます。

小笠寺 享

### 編集スタッフ

委員長	氷室 裕史
副委員長	大友 仁子
委員	小笠寺 享
委員	千葉多嘉男
委員	阿部 圭二
委員	升沢 博子

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

